

---

# 愚者の骨

伊恩

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

愚者の骨

### 【Nコード】

N4519E

### 【作者名】

伊恩

### 【あらすじ】

頭はいいし、とてつもなくお金持ち。おまけに超がつくほどの美少年であるフォル。だが彼の正体は殺し屋。そして熱狂的な人骨収集家と言う超のつく変人だったのだ……！

## プロローグ（前書き）

この作品を見つけてくれてありがとうございます！！

楽しんでいたださいね

私の書いている小説は

<http://www.geocities.jp/thealcemist295/>

でも読むことができます。

是非遊びにいらしてください。

## プロローグ

一つの巨大大陸と幾つかの島しか存在しない異世界、グルバ。

文明の発達などとは無縁であり、剣と魔法が支配する世界。

ここに変人はいた。

仕事は犯罪者専門の殺し屋。

殺すのは愚か者限定と言うポリシーの持ち主。

依頼主から金銭を受け取らないという変人ぶり。

だが彼が変人と呼ばれるわけは別にあつた……………

グルバの中心となる大陸ベルナの中心の国サボルタージュの中心の  
首都セドンの中心の地下……………

中心の中心の中心の中心の地下に変人はいた。

太陽の光が入らない地下では蠟燭の光に頼るしかない。

もうここに来て3年が経つネルことネルヴァはこの雰囲気嫌いだった。

もともとネルはゴーストの類の話が大の苦手と言う少女である。

蠟燭をつけてもまだ暗い地下を好きになれと言うほうが無理がある。

『ゴトツ』

追い討ちをかけるように後ろからネルに何かが覆いかぶさった。

振り向かなくても何か分かっていった。

「キヤアアアアツツ!!」

ネルの叫び声は地上にまで聞こえそうだった。いや、聞こえていたかも……

もうだめもうだめもうだめえええ!!

恐怖で腰が抜けてしまった。

だが叫び続けることだけは忘れていない。

しかし叫び声はすぐに止むこととなった。

背後から誰かが覆いかぶさってたものをのけたのだ。

ネルがほっとしたのもつかの間、思いっきり頭を殴られた。

「この馬鹿!汚れたりしたらどうするつもりだっ!」

「うう……フォルさまあ。」

「なにが『フォルさまあ』だっ!」

フォルと呼ばれた少年の怒りは尋常じゃない。

だが、今度は優しく覆いかぶさっていたものに話しかける。

「悪かったなあ。ジョルジュ、俺の下僕が失礼なことをしてしまっ  
たな。」

だがジョルジュが返事をするわけ無い。

「ネル！骨は白さが命なんだぞ、白さが。」

骨。

そう、ネルに覆いかぶさっていたのは骨だったのだ。

しかも人骨だ。

貧乏平民のネルが仕えている少年・フォルこそが有名な変人の正体  
である。

パツとみただけでは華奢な美少年。

だが最初に言っていた通り職業は犯罪者専門の殺し屋。

そして世界、いや宇宙1の人骨収集家である。

「お前は本当に……！！ジョルジュの価値が分かってないな  
！」

さっきからフォルが言っているジョルジュと言うのは骨を全部つな

げたいわば人体標本である。

『そんなものわかってたまるか!』

と言つのがネルの本心である。

だいたいジョルジュは生前、セドン市民を恐怖のどん底に突き落と  
した殺人鬼である。

たしか1週間前にフォルが依頼を受け、殺したばかりだ。

この地下室は国王も真つ青の広さがある。

だがネルが行つたことのあるのは3つの部屋だけである。

それでも小さな城1つほどの広さがあるのだ。

この部屋の1つはフォルたちの生活スペース兼フォルの部屋。

もう1つの狭い部屋はネルの寝室だ。

そして最後の1つは………ベストコレクションルームとでも  
言つのだらうか？

名前が無いためフォル様の愛玩室（勝手に命名）とネルは呼んでい  
る。

愛玩室には数えられるだけでも100体以上の骨があるのだ。

だがフォルのコレクションはこれだけではなく、ネルの行ったこと

の無い多くの部屋にもどっさりと言つ話だ。

そしてその人骨の全てが犯罪者のものなのである。

もうわかっているかもしれないが犯罪者の人骨こそがフォルの殺しの報酬。

しかも殺した者の骨を取るため、依頼者に負担はかからない。

そのためフォルに依頼が殺到し続けているのだ。

それでもフォルは対象が犯罪者（愚か者）であれば全部受けてしまふ。

現にこの地下にある膨大な量の人骨は全員フォルの手にかかって命を落としたのだ。

## プロローグ（後書き）

読んでくれてありがとうございます!! ^^  
感想をくれるととても嬉しいです。

私の書いている小説は

<http://www.geocities.jp/thealcemist295/>

でも読むことができます。

是非遊びにいらしてください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4519e/>

---

患者の骨

2010年10月16日00時46分発行